



NIE(教育に新聞を)活
動の普及に当たる北信越5県

記事活用事例で情報交換

本社 北信越のアドバイザー会議



北信越各県のNIE活動について情報交換する
参加者＝16日、福井新聞社・プレス21

のアドバイザーや推進協議会
事務局長らの会議が16日、福
井新聞社・プレス21であり、
教育現場での新聞活用を広げ
る取り組みを情報交換した。
日本新聞協会が主催し、各
県持ち回りで毎年行ってい
る。今回は福井、長野、新潟
3県の学校や新聞社から約20

人が出席した。

長野県NIE研究会は、今
夏の知事選に合わせ、信濃毎
日新聞社と連携。候補者2人
の政策を比較した紙面を活用
した模擬投票を呼び掛け、6
校約1200人が参加した。
同研究会会長の有賀久雄・松
本工高教諭は、同校3年生の
投票率が78%と松本市全体の
38%を大きく上回ったことに
触れ、「主権者教育を進める
上で新聞は実践的で有効な教
材」と述べた。

新潟県NIE推進協議会の
土屋修事務局長は、学校のホ
ームルームやNIEタイムで
活用できる「新聞遊び」を紹
介する冊子を作り、来年1月
に配布すると説明。NIE普
及の課題として、学校司書や
司書教諭との連携、アドバ
イザーの育成を挙げた。

日本新聞協会の関口修司N
IEコーディネーターが「新
学習指導要領とNIE」と題し
て基調提言した。(宇野和宏)